

1300年の歴史を持つ美濃和紙で栄えた豪商の街に、 市民と協力して作り上げた古民家高級宿泊施設 2019年7月5日(金)グランドオープン！！

「ニッポニアNIPPONIA 美濃 商家町」オープンに先がけ
2019年7月3日(水)オープニングセレモニーとメディア向け内覧会を開催



みのまちや株式会社（本社：岐阜県美濃市 代表取締役：辻晃一）（以下当社）は、江戸時代から和紙の産業で栄えた町「美濃」に、築100年以上の古民家を高級宿泊施設に改修した「NIPPONIA 美濃商家町」（以下当宿泊施設）のオープンに先駆け、2019年7月3日（水）にオープニングセレモニーとメディア向け内覧会を開催します。

当宿泊施設は少子高齢化が進み空き家増加の課題を持つ美濃市の、町並みの保存継承と観光振興を目的に、農水省の農山漁村振興交付金を活用し、丸重製紙企業組合（本社：岐阜県美濃市 代表理事：辻晃一）と株式会社NOTE（本社：兵庫県篠山市 代表取締役：藤原岳史）の共同出資によって設立された当社が主体組織となり開発、資金調達、運営を行います。限られた予算内で難航した当宿泊施設の開発では、多くの市民の方々の協力を得ることができました。特に改修の一部作業には、多くの市民の方にボランティアとして参加頂きました。

定員は6室計25人。1泊朝食付きで一部屋4万～7万円。当宿泊施設のNIPPONIAブランドはこれまで兵庫県篠山市を起点に全国8地域に展開。今後2020年までに、15地域への展開を予定しています。オープニングセレモニーでは、フランス人画家が美濃和紙にお囃子に合わせて書くライブペインティングや、市民らへのお披露目記念として、餅まきの催しなどをご用意しました。

メディア向け内覧会詳細

【 日 時 】 令和元年7月3日(水) 12:30～16:00

【 場 所 】 岐阜県 美濃市本住町1912-1

【スケジュール】 12:00 受付開始

12:30 メディア向け内覧会開始

13:30 オープニングセレモニー開始

16:00 終了

【 出 席 者 】 岐阜県美濃市 武藤 鉄弘 美濃市長

丸重製紙企業組合 辻 晃一 代表理事

(株) NOTE 藤原 岳史 代表取締役

みのまちや(株) 岡田 岳史 取締役 等

施設の概要

所在地：岐阜県 美濃市本住町1912-1

敷地面積：2495.17㎡ / 延べ床面積：989.56㎡

電話番号：0575-29-6611

URL：<https://stay.nipponia.or.jp/areas/mino/>

エリアの魅力

江戸時代から和紙の産業で栄えた町「美濃」。

当宿泊施設は美濃の中でも紙の商人の町屋が並ぶ「うだつの上がる町並み」にあります。「うだつが上がる」という言葉は、昔の商人たちが自身の繁栄を示すために競い合うように高さを上げ、個性に富んだ装飾を施した「うだつ」から由来しています。かつて日本の出版、造幣、建築などあらゆる産業を支えた紙の商人たちによって造り上げられた邸宅が並ぶ町屋造りは、当時の紙商の繁栄を今もなお感じさせてくれる重要な歴史文化遺産です。

一方、市街の北に位置する手漉き和紙職人の里である牧谷地区では、周囲を囲む山々と傍を流れる長良川からの豊かな水に支えられ、今でも職人たちが手作業で和紙を一枚一枚漉き上げています。

広域地図



施設の特徴



旧松久才治郎邸

明治後期～大正初期に建てられたと伝わる邸宅は、重要伝統的建造物群保存地区に位置しています。和紙の原料問屋を営み美濃市長を務めたこともある主人が、賓客をもてなすために建設した商いの場を兼ねた隠居家でした。NIPPONIA独自の改修方針に基づき、歴史的建築物が持つ魅力を最大限に生かし、原型の魅力を生かす設計により、主屋と3つの蔵を全6室の宿泊施設、最も大きな蔵をテナントエリアとして開発しました。



建物を使いながら価値を継承

～随所に紙商の息吹を感じる～

当宿泊施設では、かつての美濃紙商の町屋にお招きし美濃の歴史や文化に溶け込むような体験を提供致します。地元の和紙職人によって当宿泊施設のために特別に作られた和紙の壁紙やアート和紙が飾られており、テナントエリアには機械漉き和紙メーカーが手がける和紙のコンセプトショップ「Washi-nary」が開店します。Washi-naryでは美濃和紙を中心に全国の和紙を集め、壁紙やアートなど和紙の新しい利用法についても提案、発信していく予定です。



地元の住民による朝食

季節に合わせた地産地消の食材を中心とした朝食は、毎朝おくどや井戸の残る昔ながらの台所で作られ提供されます。メニューは「紙商の朝食は早くから仕事を始めるために、熱いものを避け質素な食事だった」というエピソードを参考に、素朴ながらも温かみのある献立を地元住民と話し合いながら考案しました。時には住民の自分の畑から収穫した採れたての野菜が使われているものもあり、味だけでなく見た目にも楽しめる朝食を朝日が快い客室で心行くまでご堪能いただけます。

みのまちや株式会社

美濃市にて増加する空き家の利活用と観光まちづくりを目的に、農水省の農山漁村振興交付金を活用し、丸重製紙企業組合（本社：岐阜県美濃市 代表理事：辻晃一）と株式会社NOTE（本社：兵庫県篠山市 代表取締役：藤原岳史）の合同出資によって設立。

会社名 : みのまちや株式会社
設立 : 2018年4月18日
代表 : 代表取締役 辻晃一
所在地 : 岐阜県美濃市御手洗464
事業内容 : 宿泊施設の経営・運営、古民家改修、エリアマネジメント

《 出欠確認用 返信用紙 》

メディア向け内覧会

- 日時：2019年7月3日（水）12:30～（受付12:00開始）
- 場所：岐阜県 美濃市本住町1912-1

お手数ですが内覧会にご出席の方は、下記にご記入の上6月28日(金)15時までに
ご返信いただければ幸いです。

送信先FAX番号:0575-29-7711 / info@mino-machiya.co.jp

ご氏名	
貴社名	部署名
媒体名	掲載・放送予定
連絡先	E-mail
取材に際してご相談や希望がございましたらご記入ください	
メニュー試食	<input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 不要
メニュー撮影	<input type="checkbox"/> 希望 <input type="checkbox"/> 不要

※メニュー試食と撮影をご希望の方は、こちらの用紙をご持参いただきますようお願いいたします。

本件に対する
お問い合わせ先

みのまぢや株式会社 広報担当:平山 Tel :080-3710-5998 / yuki-hirayama@mino-machiya.co.jp